



JAF

2023年JAF『自動車税制に関するアンケート調査』結果

1 調査概要

- ・調査対象: 全国18歳以上の自家用乗用車保有者
- ・調査方法: インターネット調査(JAFホームページにて実施)
- ・調査期間: 2023年5月29日(月)～8月20日(日)の83日間
- ・有効回答者数: 189, 285人

2 設問

<はじめにお読みください>

1. 自動車には表1の通り、取得(購入)、保有、使用(走行)の各段階で様々な税が課せられています。

また、このうち自動車重量税やガソリン税等には、「当分の間」の措置として、本来の税率(本則税率)に上乗せされた税率が課されています(詳細は表4で示します)。

2. 2019年10月の消費税率引き上げにあわせて自動車取得税は廃止されましたが、新たに自動車税と軽自動車税に「環境性能割[※]」の制度が付加されました。また、自動車税については新車新規登録を受ける自家用乗用車(軽自動車を除く)の税負担が1,000円～4,500円引き下げられました。

※自動車の取得時に環境性能(燃費基準値の達成度)に応じて、取得価額の0～3%(軽自動車は0～2%)が課税されます。

【表1】現在の自動車税制（2023年度）

※エコカー減税等適用外の自家用乗用車
(普通車又は小型車)の場合

段階	税目	国/地方税	税の用途	現行の税率
取得 (購入)	自動車税 (環境性能割)	地方税	一般財源※1	3% (環境性能に応じて課税)
	消費税	国税・地方税	一般財源	10%
保有	自動車重量税	国税	道路整備の特定財源だったが、 一般財源化された※2	4,100円/0.5t/年
				車齢13年超の車両 5,700円/0.5t/年
				車齢18年超の車両 6,300円/0.5t/年
	自動車税 (種別割)	地方税	一般財源	【2019年10月以降に新車新規登録した場合】 排気量に応じ課税 25,000～110,000円/年 【既に保有等、上記以外の場合】 排気量に応じ課税 29,500～111,000円/年
使用 (走行)	ガソリン税 (揮発油税+地方揮発油税 ※3)	国税	道路整備の特定財源だったが、 一般財源化された	53.8円/ℓ
	軽油引取税	地方税	道路整備の特定財源だったが、 一般財源化された	32.1円/ℓ
	石油ガス税	国税	道路整備の特定財源だったが、 一般財源化された	17.5円/kg
	(燃料)消費税	国税・地方税	一般財源	10%

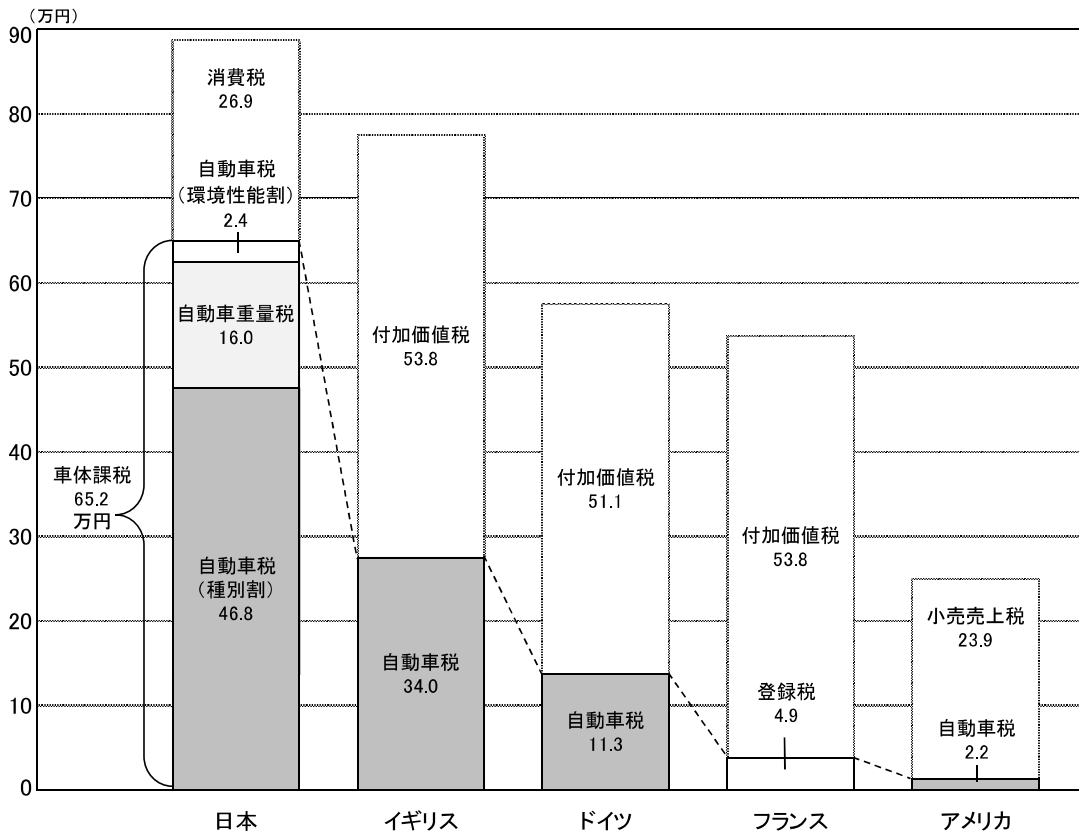
※1 一般財源：税収の用途に限定がなく、国や地方公共団体の裁量で自由に使える財源。

※2 道路特定財源：道路整備等の支出に充てるとされていた財源(現在は廃止)。

※3 地方揮発油税：国税として徴収されるが全額が各地方に譲与される。以前は「地方道路税」という名称で課税されていたが2009年に道路特定財源の一般財源化に伴い現在の名称に改称された。

3. 表1のように、日本では自動車の取得段階で「消費税」のほか「環境性能割」が課せられ、さらに保有段階においては、「自動車税(軽自動車は軽自動車税)」と「自動車重量税」が課税されており、消費税を除く車体課税の負担は欧米諸国に比べ約1.9～29倍と極めて過重なものとなっております。欧米では、自家用乗用車に自動車重量税と同種の税金を課している国はありません。

【図1】車体（取得・保有）課税の国際比較〔13年間使用した場合〕



前提条件:[1]排気量2,000cc(軽は660cc) [2]車両重量1.5t(軽は0.86t) [3]JC08モード燃費値21.4km/L、CO₂排出量108g/km [4]車体価格269万円(軽は142万円)
 [5]フランスはパリ市、アメリカはニューヨーク市 [6]フランスは課税馬力8 [7]13年間使用(平均使用年数:自動車検査登録情報協会データより)
 [8]為替レート:1ユーロ132円、1ポンド158円、1ドル113円(2021年4月~2022年3月の平均)
 ※2022年4月時点での税体系に基づく試算 ※日本のエコカー減税等による特例措置は含まず

※自動車税制改革フォーラム調べよりJAFが作成

《ここからが質問です》

問1：マイカーには、取得後毎年、次の【表2】のような税金が課せられています。あなたはこれら自動車にかかる税金をどのように感じますか？

以下の中から、もっとも当てはまるものを1つだけお選びください。

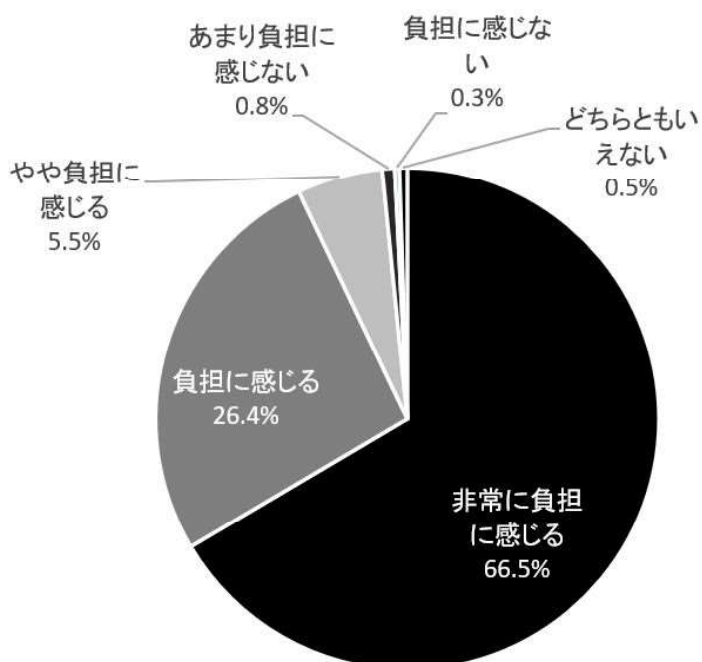
- 回答群：①非常に負担に感じる
 ②負担に感じる
 ③やや負担に感じる
 ④あまり負担に感じない
 ⑤負担に感じない
 ⑥どちらともいえない

以上を踏まえ、自家用乗用車をお持ちの方にお伺いします。

【表2】自家用乗用車にかかる年間の税金

	税 目	納税時期・方法	金額
保有段階	自動車税	毎年納税通知書にて振り込み	¥36,000
	自動車重量税	新車購入時、または車検時	¥12,300
使用(走行)段階	ガソリン税 (揮発油税+地方揮発油税)	ガソリン給油時	¥53,800
	消費税	ガソリン給油時	¥15,500
合 計			¥117,600

排気量/1,800cc、車両重量/1.5トン以下の車両で、年間ガソリン使用量/1,000リットルの場合。
 (※ガソリン小売価格は消費税込み171円/リットルで換算、2022年6月時点。エコカー減税等の適用外車両。)
 なお、自動車重量税額は4,100円/0.5トン/年で計算。
 ※自動車税は2019年10月1日以降に新規登録した場合を想定。
 ※税目を示す表であることから、「ガソリン自体の価格」は含んでおりません。



問2: ガソリンには次の【図2】のように、販売時にガソリン自体の価格にガソリン税が加算されそれらの合計額に、さらに消費税が課税される仕組みとなっているという指摘があります。(税に税が課せられる、いわゆる「タックス・オン・タックス」)。一方、国税庁は以下のような見解を示しています(一部抜粋、揮発油税はガソリン税を指す)。これは、ガソリン税は酒税やたばこ税などと同様、メーカーなどが納税義務者となって負担するものであり、販売価格の一部に含まれるため、タックス・オン・タックスではないというものです。

あなたはこのことについてどうお考えですか？

以下の中から、もっとも当てはまるものを1つだけお選びください。

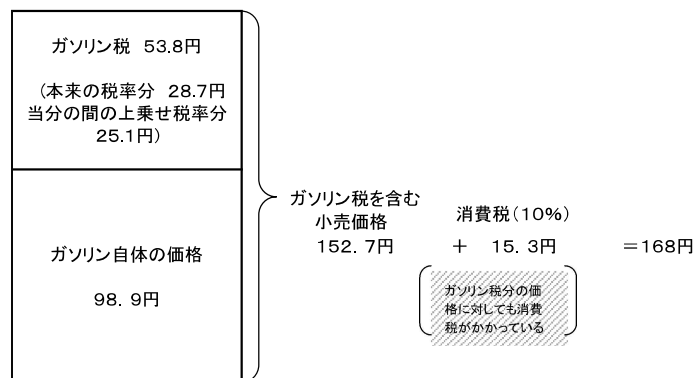
- 回答群: ① ガソリン税には消費税がかからないようにすべき
 ② 現行のままでよい
 ③ わからない
 ④ その他(フリーコメント)

国税庁の見解

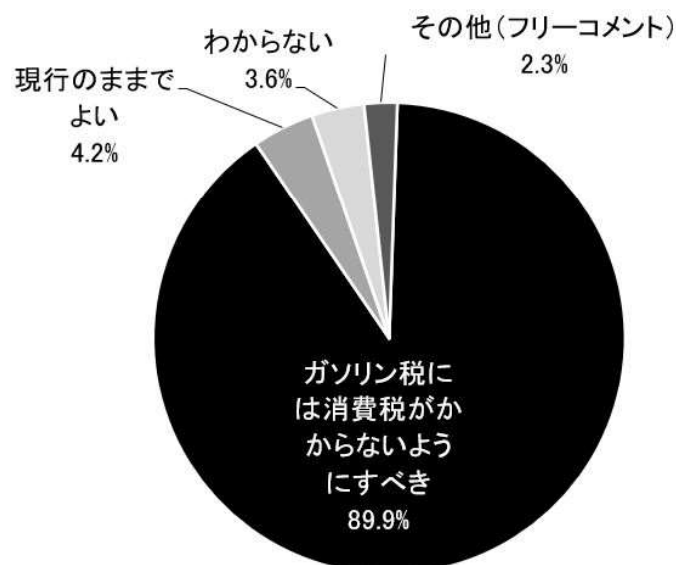
消費税の課税標準である課税資産の譲渡等の対価の額には、酒税、たばこ税、揮発油税、石油石炭税、石油ガス税などが含まれます。これは、酒税やたばこ税などの個別消費税は、メーカーなどが納税義務者となって負担する税金であり、その販売価額の一部を構成しているため、課税標準に含まれるとされているものです。(国税庁ホームページ上のタックスアンサーNo.6313「たばこ税、酒税などの個別消費税の取扱い」より)

【図2】ガソリンの小売に課せられる消費税

(例) 消費税込み小売価格1L当たり168円の場合の内訳



ガソリン小売価格は資源エネルギー庁「石油製品価格調査」2023年5月のデータを参考に設定



n=189,285

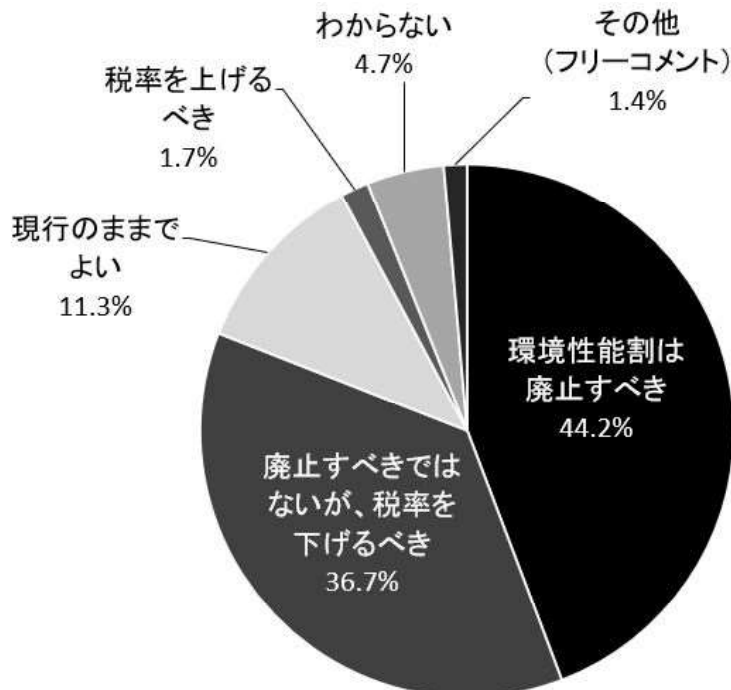
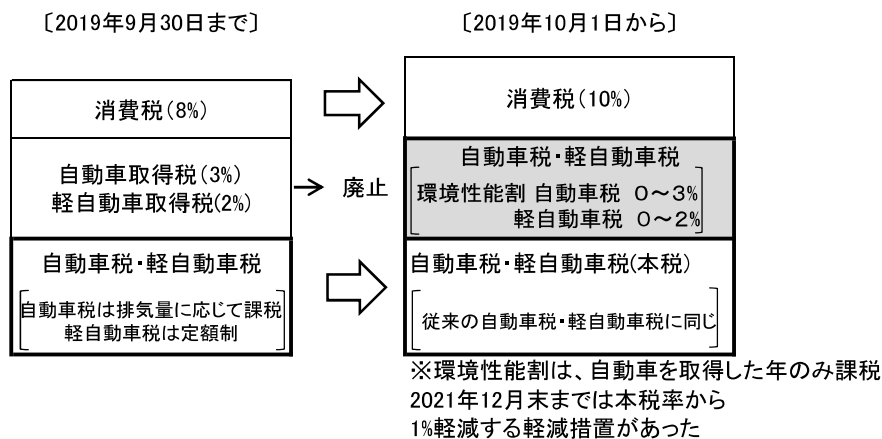
問3:アンケートの冒頭でご説明したとおり、2019年10月から消費税増税と同時に自動車取得税は廃止されましたが、新たに自動車税と軽自動車税に燃費の善し悪しに応じて課税される環境性能割の課税制度が付加されました(【図3】参照)。

これは、自動車の取得に対する税であった自動車取得税の場合と同じく、取得価額(車両価格)を基準として課税され、自動車取得の初年度にのみ課税されるものであるため、自動車取得税の単なる付け替えであるとの意見もあります。あなたはこのことについてどうお考えですか？

以下の中から、もっとも当てはまるものを1つだけお選びください。

- 回答群:① 環境性能割は廃止すべき
 ② 現行のままでよい
 ③ 廃止すべきではないが、税率を下げるべき
 ④ 税率を上げるべき
 ⑤ わからない
 ⑥ その他(フリーコメント)

【図3】環境性能割のイメージ

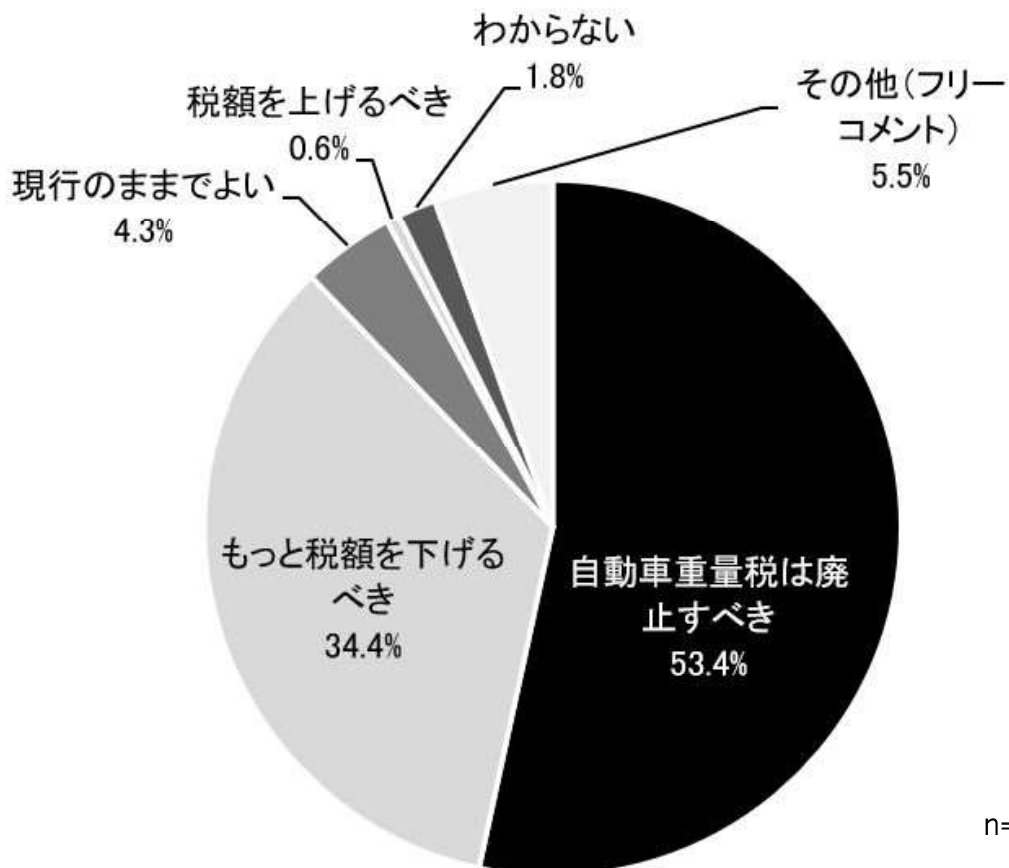


n=189,285

問4:自動車重量税は、1971年に、当時、国の道路整備計画の財源不足を補うために創設された税です。しかし、その税収入が2009年に用途の限定されない一般財源となりました。あなたはこの税についてどうお考えですか？

以下の中から、もっとも当てはまるものを1つだけお選びください。

- 回答群: ① 自動車重量税は廃止すべき
② もっと税額を下げるべき
③ 現行のままでよい
④ 税額を上げるべき
⑤ わからない
⑥ その他(フリーコメント)



問5:自動車の税金には、次の【表4】の通り、国の財政が厳しいという理由から「当分の間税率」といわれる本来の税率(本則税率)を上回る特例税率が約50年も課せられたまま維持されているものもあります。このように、税率が上乘せされたままになっていることについてあなたはどのようにお考えですか？

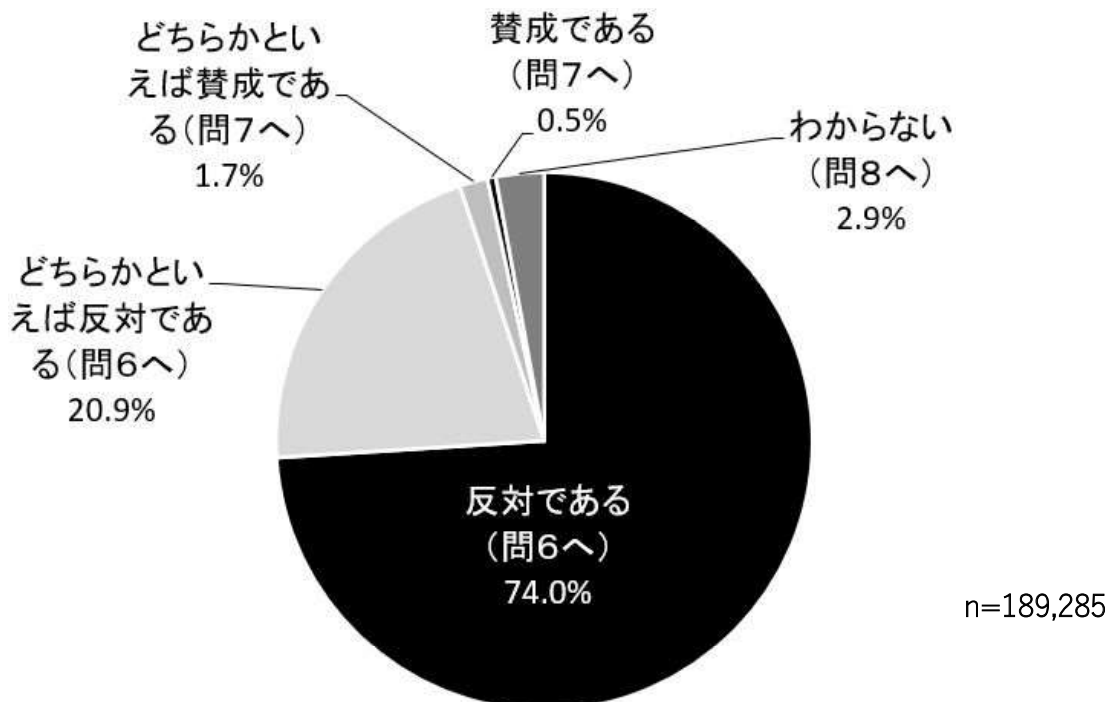
以下の中から、もっとも当てはまるものを1つだけお選びください。

- 回答群:①反対である(問6へ)
 ②どちらかといえば反対である(問6へ)
 ③どちらかといえば賛成である(問7へ)
 ④賛成である(問7へ)
 ⑤わからない(問8へ)

【表4】本来の税率を上回る特例税率が課せられている税目

自家用乗用車の場合			
税目	本来の税率	現行の税率(特例税率)	本来の税率との比較
自動車重量税※	2,500円/0.5t/年	4,100円/0.5t/年	1.6倍
		車齢13年超の車両 5,700円/0.5t/年	2.3倍
		車齢18年超の車両 6,300円/0.5t/年	2.5倍
ガソリン税 (揮発油税+地方揮発油税)	28.7円/ℓ	53.8円/ℓ	1.9倍
軽油引取税	15.0円/ℓ	32.1円/ℓ	2.1倍

※電気自動車をはじめとしたエコカー減税等対象車等の一定の燃費性能基準を満たすものは、原則として新規登録時に限り税率の上乗せはなく「本来の税率」が適用され、更にその燃費性能により25%から100%の減税がなされます。



問6：問5で「反対」または「どちらかといえば反対」と答えた方にお聞きます。

以下の中から、反対の理由として当てはまるものをお選びください

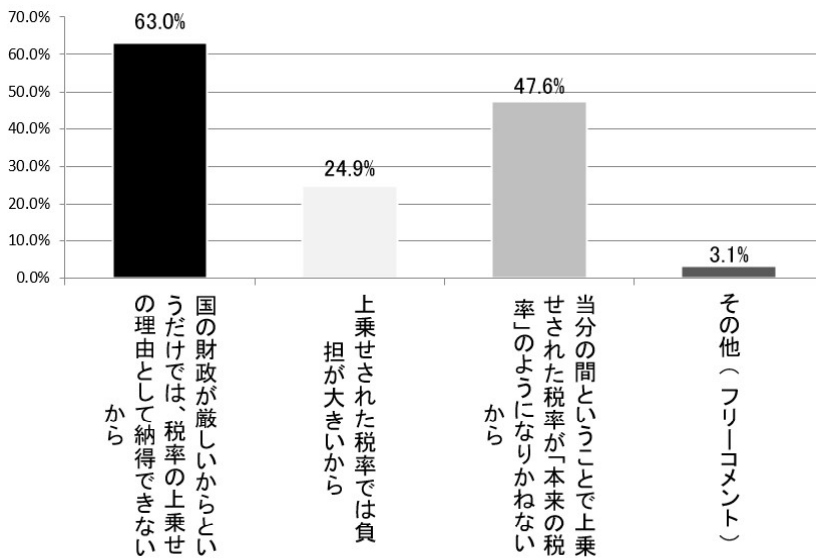
(複数選択可)

回答群：①国の財政が厳しいからというだけでは、税率の上乗せの理由として納得できないから

②上乗せされた税率では負担が大きいから

③当分の間ということで上乗せされた税率が「本来の税率」のようになりかねないから

④その他(フリーコメント)



n=179,640

問7：問5で「賛成」または「どちらかといえば賛成」と答えた方にお聞きます。

以下の中から、賛成の理由として当てはまるものをお選びください

(複数選択可)

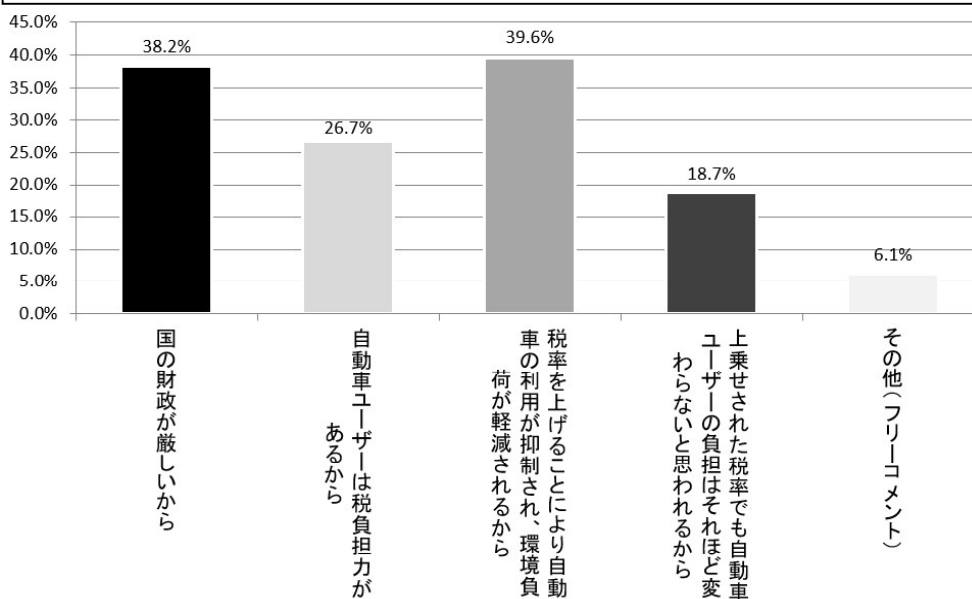
回答群：①国の財政が厳しいから

②自動車ユーザーは税負担力があるから

③税率を上げることにより自動車の利用が抑制され、環境負荷が軽減されるから

④上乗せされた税率でも自動車ユーザーの負担はそれほど変わらないと思われるから

⑤その他(フリーコメント)

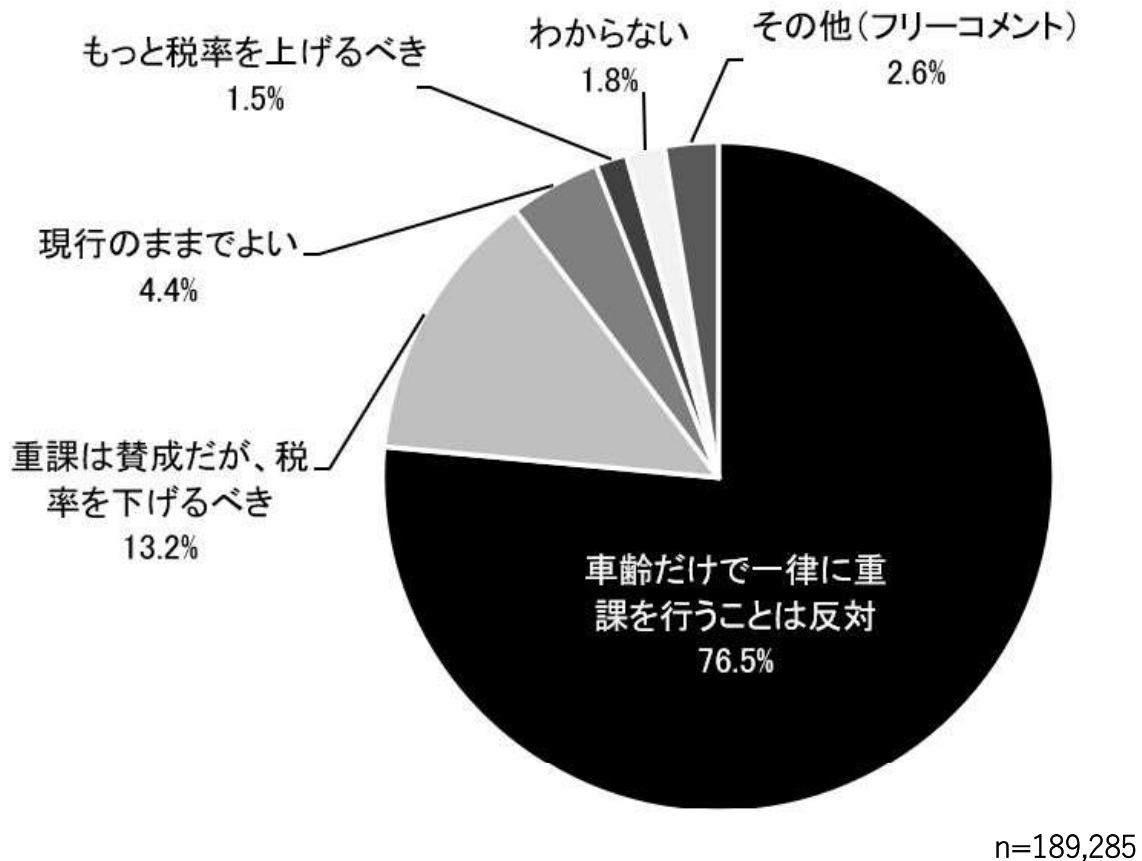


n=4,147

問8：新車新規登録から13年を経過した自動車に対しては、自動車重量税及び自動車税や軽自動車税において重課(より重い税率を課す措置)がなされています(なお、自動車税は、ディーゼル車については11年を経過すると重課)。あなたは車齢だけで一律に重課を行うことについてどうお考えですか？

以下の中から、もっとも当てはまるものを1つだけお選びください。

- 回答群：① 車齢だけで一律に重課を行うことは反対
② 重課は賛成だが、税率を下げるべき
③ 現行のままでよい
④ もっと税率を上げるべき
⑤ わからない
⑥ その他(フリーコメント)

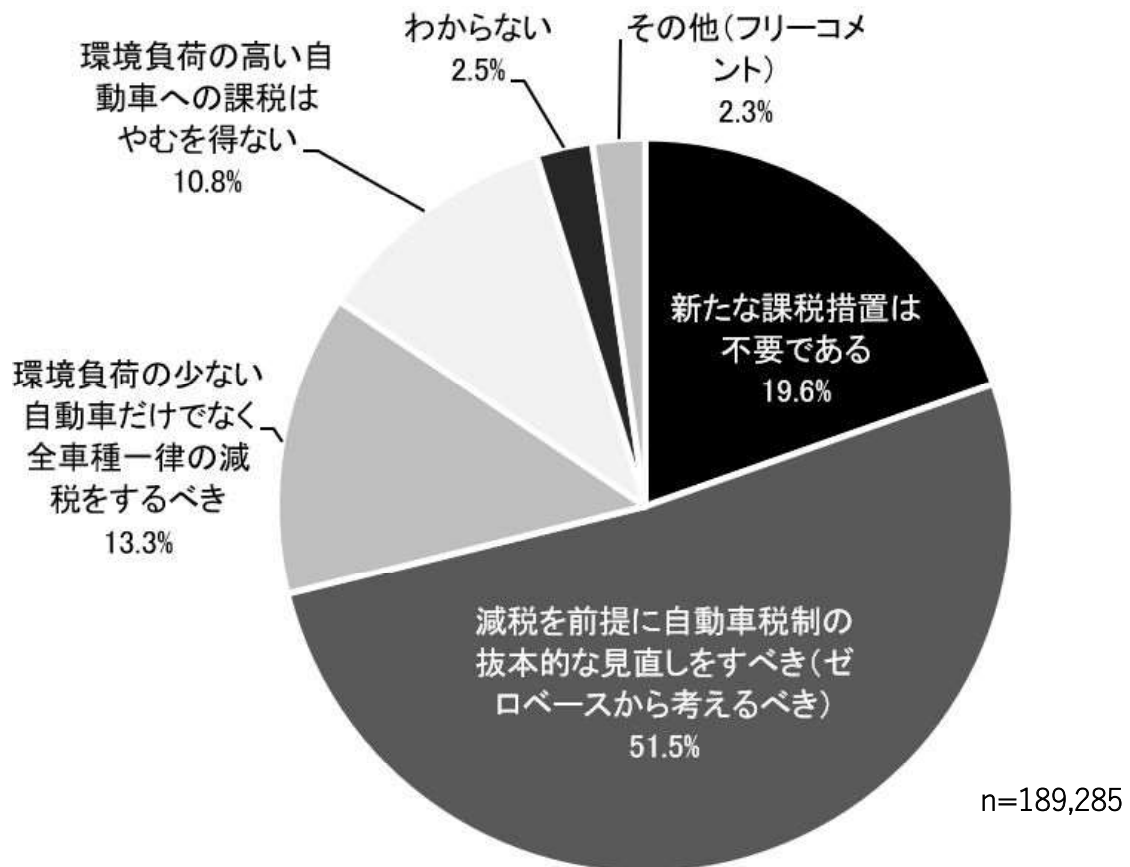


問9：2035年に乗用車の新車販売をすべて電動車(電気自動車・燃料電池自動車・ハイブリッド車・プラグインハイブリッド車)とする政府の方針や、2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする、カーボンニュートラル[※]の実現を目指すという政府目標もあり、今後さらに環境負荷の少ない自動車に対する税制の優遇が進むことが予想されます。脱炭素社会の実現に向けて日本の自動車税制はどうあるべきでしょうか？

以下の中から、もっとも当てはまるものを1つだけお選びください。

※カーボンニュートラル:「カーボン」はCO₂に含まれる炭素、「ニュートラル」はバランスのとれた中立を表します。CO₂の排出量と吸収量を等しくし、トータルでプラスマイナスゼロを目指すものです。

- 回答群:①新たな課税措置は不要である
 ②減税を前提に自動車税制の抜本的な見直しをすべき(ゼロベースから考えるべき)
 ③環境負荷の少ない自動車だけでなく全車種一律の減税をするべき
 ④環境負荷の高い自動車への課税はやむを得ない
 ⑤わからない
 ⑥その他

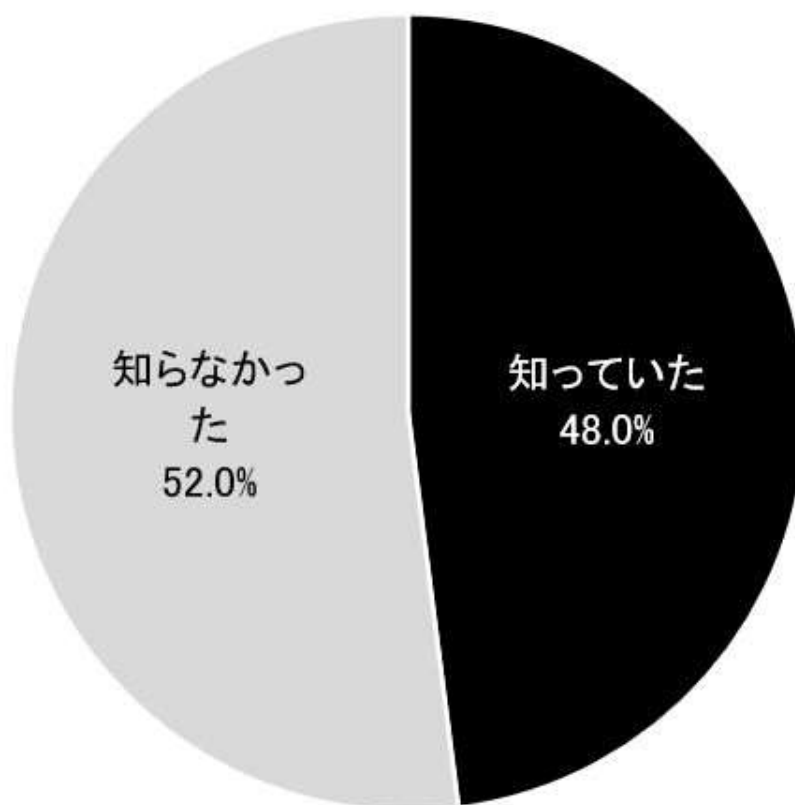


問10-1:

今後の日本の自動車税制度について、走行距離や出力に応じた課税といった新たな税制度を模索する議論がなされています。背景の1つとして、EV(電気自動車)を中心とした電動車の普及があります。例えば、EV の場合は、排気量の概念がなく、ガソリンも使用しないため、今後さらに普及すると既存の自動車税制では公平に課税できない部分があり、税収の安定性が損なわれる懸念があります。一方、走行距離が相対的に大きい地方や特定の業種(物流業やバスやタクシーといった公共交通事業など)は負担増になる可能性が高いとの指摘もあります。

あなたはこれらの新しい税制度について議論がなされていることを知っていましたか？

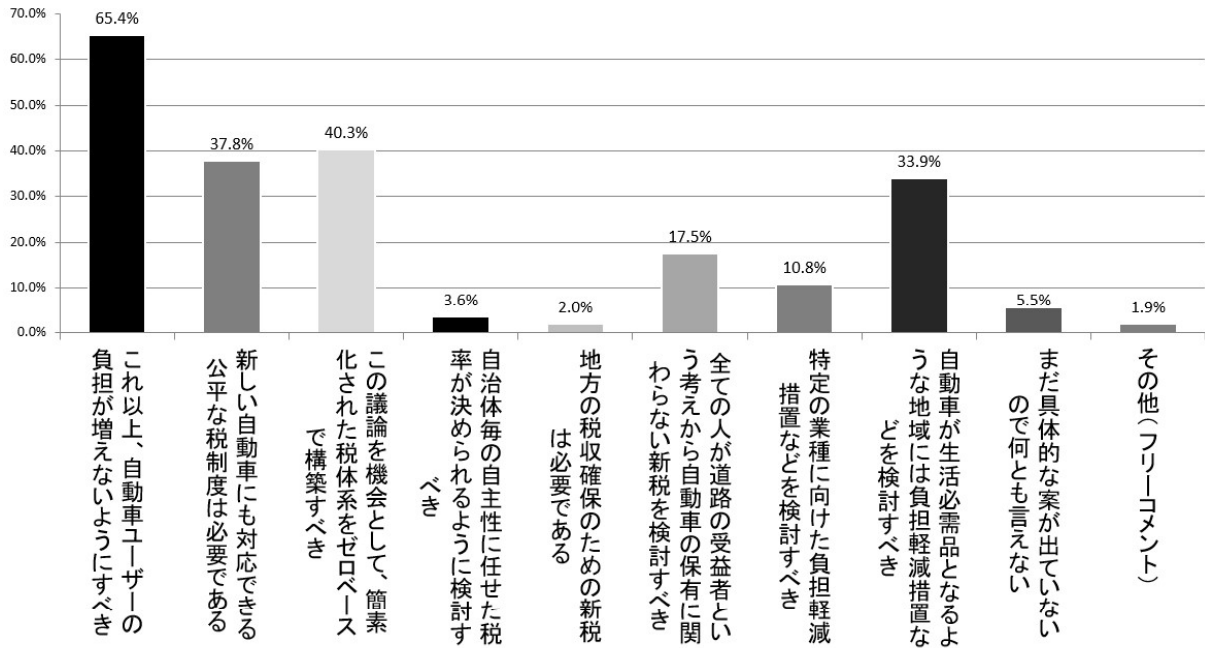
- 回答群:① 知っていた
② 知らなかった



問10-2

前記、問10-1の制度(走行距離や出力に応じた課税)についてどのように
 思いますか?あなたの意見に近いものを3つまで選択してください。

- 回答郡:① これ以上、自動車ユーザーの負担が増えないようにすべき
 ② 新しい自動車にも対応できる公平な税制度は必要である
 ③ この議論を機会として、簡素化された税体系をゼロベースで構築すべき
 ④ 自治体毎の自主性に任せた税率が決められるように検討すべき
 ⑤ 地方の税収確保のための新税は必要である
 ⑥ 全ての人々が道路の受益者という考えから自動車の保有に関わらない新税を検討すべき
 ⑦ 特定の業種に向けた負担軽減措置などを検討すべき
 ⑧ 自動車が生活必需品となるような地域には負担軽減措置などを検討すべき
 ⑨ まだ具体的な案が出ていないので何とも言えない
 ⑩ その他(フリーコメント)



n=189,285

問11：その他に自動車税制についてご意見があればお聞かせください。

(1)地方の人は車がなければ生活が成り立ちません。また、地方は首都圏と比べて収入が少なく新車を購入する余裕がある家庭は多くはないです。このような状況で新しい車だけが減税される現在の税体制は現実的ではないと考えます。

〔北海道 20代 男性〕

(2)自動車は地方では生活必需品。それに様々な税を課すのでとても大変。雪国だとスタッドレスタイヤも買わなければならないので苦しい生活です。

〔青森県 40代 男性〕

(3)古い慣習にとらわれず、現代社会に沿った制度に一から見直したほうが良いと思います。

〔宮城県 40代 男性〕

(4)自動車が若者に売れなくなっていると言われているが、税金負担が多いため更に自動車離れが進んでいるように感じる。私の回りでも自動車を買いたいと考える人もいるが、金銭面から諦めている人も多くいる。

〔東京都 20代 女性〕

(5)負担が多すぎる。子育て世代だか、移動に車は必需品。少子化対策としても、車があれば、子育ての一助になる。手当などだけではなく、こういったところにも視点を当てるべき。

〔神奈川県 30代 男性〕

(6)生活する上でいろいろな物に税金が掛かるのは正直しょうがないと思う。しかし車に対しては購入してからもことあるたびに税金がかかりすぎと思います。地方では1人一台ないと生活もままならない状況なのでもう少し見直しをしていただきたい。ガソリン代も大分値上がりしているいろいろ大変です。

〔長野県 50代 男性〕

(7)自動車は生活に不可欠なもので、自家用車を持っていない人は関係ないとは言えない。車所有者にばかり負担が大きいのは納得がいかない。物流に車が関わっている以上一般の人ともカーボンニュートラルにかかるコストを分散するような税制を考えてほしい。

〔愛知県 60代 女性〕

(8)登録から13年経過した車の税金が上がるのはやめてほしい。

〔岐阜県 30代 男性〕

(9)若者の車離れなどが近年議論になるが、これらの税金などにより、若者が車を保持できない状況となっている。私もまだ学生であり日々のアルバイトでなんとかギリギリの生活を送っている。税金などを見直し、誰もが車を取得、また維持しやすい環境を作してほしい。

〔静岡県 10代 男性〕

(10)税金の使途が不明なまま支払い続けるのはおかしい。環境の変化、ライフスタイルの変化、経済動向を見ながら3年に一度は廃止や減税見直しをしてほしいと思う

〔大阪府 40代 女性〕

(11)課税に対して、絶対的に反対ではありません。もっと、課税が必要な説明を車の所有者に対し、理解できる説明が必要だと考えます。納得できる理由があれば所有者は検討するのではないのでしょうか。課税側と納税側との距離がかけ離れ過ぎてると思います。

〔広島県 70代 男性〕

(12)自動車がないと不便な地域に住んでいます。一人一台、計3台持ちの我が家ではとても負担が大きいのでこれ以上増やさないで欲しいです。

〔山口県 50代 女性〕

(13)最近ではガソリン代が著しく値上がりしてる部分がかかり目につきます。 毎日通勤で使わないといけない地域なので、ほんとについでです。

〔香川県 20代 男性〕

(14)ホントに負担です。これでは乗り換えを考えても、毎年掛かる税金に躊躇し思い留まりません。13年越しの車に乗っています。大事に乗りたいです。でも、車は大好きだし、色々な車に乗って、車業界が頑張ってきた技術の進歩も実感したいです。もっとみんなが車を手にしやすい税金の仕組みにするか、無くすかして欲しいものです

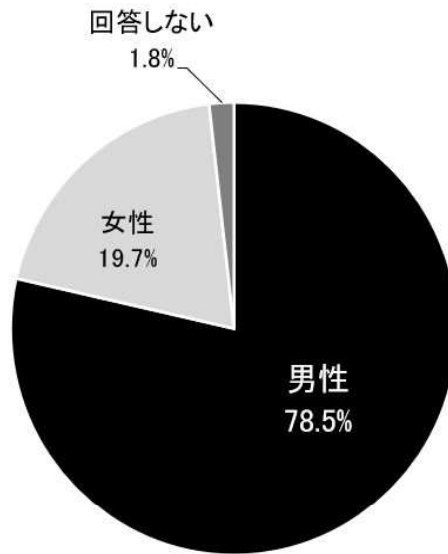
〔福岡県 40代 女性〕

(15)自動車が贅沢品である都市部に比べて、地方では唯一の移動手段である地域もあり、実質必需品となっている。必需品であるのに毎年の自動車税やガソリン代など負担が大きいと感じている。生活必需品と考えられる地域では軽減税率など柔軟な税設定をしてほしい。

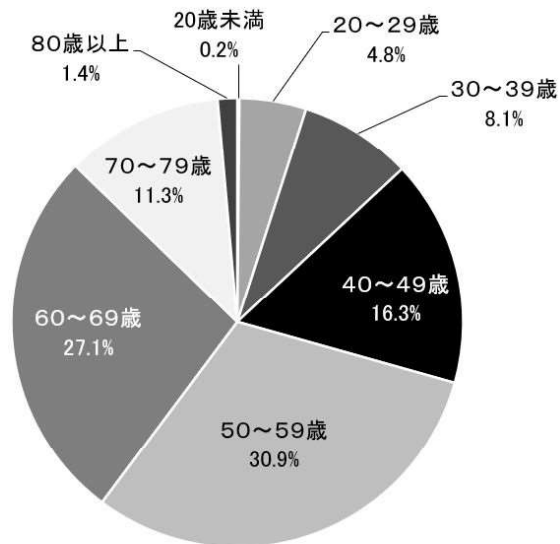
〔鹿児島県 30代 男性〕

〔回答者属性〕

1 性別



2 年齢層



3 居住地域

